



地域おこし協力隊通信

八巻 枝美 編

第60回

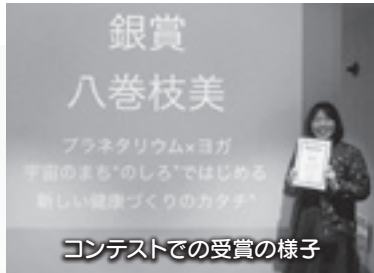
今年は冬らしくない日が多く、気がつけば春が来ていました。私にとって能代の春は3回目。協力隊としての活動は最長で3年と決まっているので、今年度が最後の年になります。

ラストイヤーは1つ大きなプロジェクトに取り組みます。それは能代駅前に宇宙のまち能代を象徴する「プラネタリウムヨガスタジオ」を作ること。

培った自分のスキルや活動で得たこと、繋がった人たちとご縁を活かし「宇宙のまちづくり」を推進する一助になりたい。空き店舗を「能代ならではの」「ここにしかない!」とっておきの体験空間」に変身させ、皆さんの笑顔が溢れる場所を作りたい。そんな思いで動き始めました。ちょうど企画がまとまってきた頃、県の「ドチャベン2019・ビジネスプランコンテスト」があり、出場しました。12チームがプラン発表を行う中、銀賞を受賞することができ、背中を押していただきました。

世の中は新型コロナウイルスで厳しい状況ではありますが、終息の日を信じ、夏〜秋ごろのオープンを予定しています。

協力隊最終年度の挑戦、応援していただけたら嬉しいです。



銀賞
八巻枝美

プラネタリウム・ヨガ
宇宙のまちのしるしではじめる
新しい健康づくりのカタチ

コンテストでの受賞の様子



協力隊の活動状況はFacebookで公開中! <https://www.facebook.com/noshirokyoryokutai/>

問合せ 市民活力推進課 ☎89-2212

このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。



No.96

配食のふれ愛 能代店
店長大塚 一生さん (37歳)

皆さんの元へ笑顔と美味しい食事を届けます!



● 関東や能代で多様な職務を経験

大学卒業後は、大手家電メーカーで営業をしていました。以前から能代で家庭を持ち、さまざまな世代と交流ができた環境で子どもを育てたいと考えていましたので、30歳で能代に戻りました。能代でもNPO法人の立ち上げや、市民活動支援センターのセンター長を経験し、その後介護施設へ就職しました。

● 介護施設の後押しで独立

介護の仕事をしていた2年

半の間に、在宅で食事に困っている高齢者の方の増加や介護施設の人材の不足など、介護現場での食事提供に関わる問題が大きくなってきていることを肌で感じました。

また、利用者一人ひとりがそれぞれ食事の好みも形態も違っていましたので、要望や状態に合わせた食事提供の重さを身に染みて感じました。そうした問題を解決するため、高齢者の自宅や施設に弁当を届け、施設の食事の確保や高齢者の孤独感を和らげる

取り組みをしたと思います、介護施設の理解をいただいで独立。配食サービスのフランチ「配食のふれ愛」をオープンし、運営しています。困っている方々に寄り添いながら仕事をできることがとてもうれしく、やりがいを感じています。

● 多くの方に配食サービスを知ってほしい

栄養バランスを考えたメニューやお客様一人ひとりに合わせたおかゆ、刻み食の提供を行っています。また、「3分間サービス」として、電球の取り換えや弁当のセッティングなど、配食時の軽作業サービスも行っています。

多くの方に配食サービスを知っていただき、市内の介護施設の手助けや、高齢者の皆さんの毎日の食事、ご家族の支えになれるようこれからも仕事を続けていきたいと思えます。



栄養バランスや味にこだわったお弁当

配食のふれ愛 能代店

住所：能代町字中川原33-15
TEL：74-6199 ファクス：74-6189

